

防犯・防災委員会

委員長：有賀 教明

青パト講習会 10月18日(木)

青色回転灯パトロールの講習会を月吉公民館で開催しました。
今回、数名の方が新規参加されましたが、まだまだ人員不足であることによりありません。明世小学校区の見守りと巡回(一人年間2~3回)を行っていますので、ご協力いただける方は事務局までお問合せ下さい。



救急救命講習会 12月2日(日)



消防防災センターにおいて、消防署職員の方の指導により心肺蘇生法とAEDの使い方等を学びました。
2組に分かれて全員が交代で行い、万が一の事態に役立てるよう一生懸命取り組みました。
なお、今回より「資格者証」の交付を受ける3時間コースを実施しており、今後も継続する予定ですので、多くの方の参加をお願いします。

初期消火訓練 1月13日(日)

「どんど焼き」の残り火を使って、バケツリレーと消火器の使い方を訓練しました。
消防署の職員の方から、消火器の種類・火元への近づき方・放水の仕方などを教わり、特に子どもたちが熱心に取り組んでいました。



防災講習会 2月23日(土)

今までは、講義・体験・クイズ等を行ってきましたが、本年度は災害時に“どのような行動をとるか、どのように考えるか”をグループで考える「クロスロードゲーム」を体育館研修室で行いました。これは京都大学が“阪神・淡路大震災”時の人々の動き・考えをゲーム化したもので、各地の防災講習で使用されています。当日は、初めての経験でしたが、戸惑いながらも和気あいあいと防災について考えました。



青少年育成委員会

委員長：小林 博明

青少年育成町民会議 7月29日(日)



体育館研修室において開催し、明世小学校から2名、瑞陵中学校から1名の代表が発表しました。
「地域の方と仲間と関わるために」「新体操から学んだこと」「瑞陵中から瑞浪北中へ」と題した発表には、いずれも感銘を受け、将来を頼もしく感じました。
また、明世小学校、瑞陵中学校の両校長先生から「日頃の児童・生徒の様子」についてお話がありました。

中学生と語る会 12月1日(土)

土岐地区まちづくりとの合同により消防防災センターにおいて開催しました。
地域の人たちを交えたグループ討議では「ボランティアについて」意見交換と発表を行いました。
討議後は、土岐川の河原で五平餅を焼き、みんなでおいしくいただきました。なお、焼き台の設置・火起こし等は、栄町区の方々にご協力いただきました。また、自主ボランティアの“登校時のごみ拾い”は翌週に実践されました。



広報活動委員会

委員長：可知 勝宏



町民の皆さんにまちづくり推進協議会の活動を知っていただき、参加していただくために、“まちづくりだより”を6月、9月、12月、3月の年4回発行しました。特に、6月号はアンケートの結果を掲載し、まちづくりに対する皆さんの考え方等を諸事業の参考にさせていただきました。
これからも、みなさんの意見・要望等があればできるだけ掲載していきたいと思っております。

スポーツ委員会

委員長：安藤 功

ノルディックウォーク

7月24日(火) 本年度は、第4火曜日に5回開催しました。
8月28日(火) 定例化することにより予定が立て易くなり、いつも20人前後の方が参加しています。
9月25日(火) トレーナーの都合にもよりますが、今後も同じように定例化して開催して行こうと思っております。健康づくりには是非ご参加下さい。



ウォーキング講習会 10月21日(日)

多々良恵子講師を招き、筋肉の役割・鍛え方等の講義とストレッチの実践を行いました。
中でも、腰痛のある方の歩き方を見て“こうすれば痛みは和らぐ”との教えは、実践した人みんなが「ほんとうに楽になった」と感心していました。
ただ歩くだけでなく、「理屈を知った上でのウォーキング」が大切と納得できた講習会となりました。



福祉委員会

委員長：大森 建生

健康講話

本年度は「転ばん塾」を各地区で4回ずつ実施し、延べ220名が東濃厚生病院のリハビリのプログラムによる「ひざ痛・腰痛予防」体操やストレッチの指導を受け、笑いを交えながら交流と共に健康づくりを学びました。これからもより健康に結びつく講座を開催する予定です。

いきいきサロン

「出かける楽しみ・会えるうれしさ」を進める中、参加者が先生になったり、出前講座などでおしゃべりをしたり、合唱や四季折々の手芸（雛人形・もち花づくりなど）で楽しい時間を過ごしました。

サロン活動に参加してみたい方は声をかけて下さい。もっともっと広げていきましょう。

花いっぱい事業

6月と11月に明世小学校・各区長寿会（クラブ）のご協力により、明世小学校、山野内第二公民館（田中泥薬師）、戸狩区民会館、月吉公民館に花苗の植え付けを行いました。6月に1200株、11月は1000株を植えていただきました。



東濃弁あるある（その3）

【雪道で転んだ人との会話】

- A、「どおしなあた あし ひこづちまって」
- B、「にすくたあどおりやなあかよん みちがこおとって ひっこてがっちまって しりのはんべたが いとていとてのお まごに へえてくりよって へえてまったけど なおらへんわよん」
- A、「どお ほりやあ いかなんだのお このごろ こてがっちゃあ あんまちする ひとが おおげなでのお ひな だあじにしとくなあや」

【訳文】

- A、どうしたんですか？足を引きずって。
- B、なさけないことですよ。道が凍っていて 転がってしまって お尻の半分が 痛くて痛くて 孫に 押してくれと言って 押しもらったけど 直らないんです。
- A、そうですか それは いけなかったですね。この頃転んで怪我をする人が多いそうですから。では お大事にしてくださいね。

明世地区まちづくり推進協議会事務局(市役所西分庁舎内まちづくり事務室内) ☎68-2111(内線365)

★ 明世地区 まちづくりだより ★

あいさつ

明世地区の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、まちづくり推進協議会の諸事業に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成30年度の各事業も多くの方々のご協力により、大過なく終わることができました。また、次年度以降への課題も見付き、それを解消しながら「このまちに住んでよかった、これからも住み続けたいまち」、そして地域の皆様全員が「まちづくりの担い手」となっていたりするような「まちづくり活動」を推進してまいります。

活動内容

あきよウォッチング委員会

委員長：安藤 正行

町民ウォーキング 11月4日(日)

「郷土の歴史と防災」をテーマに月吉区の神社とお寺を巡り、同時に通学路の危険箇所を確認する町民ウォーキングを開催しました。

公園に戻った後は水辺の広場でとん汁とおにぎりを味わいました。当日は予想を上回る参加者となり、とん汁とおにぎり不足するほど盛況でした。

このウォーキングは次年度以降、山野内区・戸狩区を予定しています。



どんど焼き 1月13日(日)



市民公園いこいの広場で、「町民の無病息災と子どもたちの学力向上」を願って「どんど焼き」を開催しました。参加者には「どんどの火」で焼いた餅入りのぜんざいが振る舞われました。また、餅が焼けるまではビンゴゲームで盛り上がり、特に子どもたちには大人気でした。